

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年1月7日～2016年1月13日)

平成 28 年(2016 年)1 月 15 日

H E A D L I N E S

政治

憲法法廷及び公共メディアの法改正を巡る情勢
 シドゥウオ首相、ポーランドの難民受け入れにつき発言
 NATOワルシャワ首脳会合に関する国防大臣の発言
 今春ミサイル防衛システムの構築
 ヴァシチコフスキ外相、チェコを訪問
 米軍との防空演習実施
 ドゥダ大統領の2016年前半の外交日程の発表
 ドゥダ大統領、外交団を前に外交政策スピーチ

経済

商業施設税法案は1月末提出見込み
 銀行税に対するECB見解
 2016年のGDP成長率は3.8%と開発省予測
 今後数年間で5%の経済成長達成
 12月の失業率は9.8%
 2015年の新車販売は大きく増加
 12月の自動車生産は増加
 国有企業の今後について 国有財産大臣発言

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて
 パスポートダウンロード申請書のご案内について
 年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
内 政

憲法法廷及び公共メディアの法改正を巡る情勢【8日～13日】

8日、公共メディア修正法案が発効したことを受けて、ヤツキエヴィチ国有財産大臣は、公共放送ポーランド・テレビの新総裁にヤツェック・クルスキ前欧州議員、公共放送ポーランド・ラジオの新総裁にバルバラ・スタニスワフチク氏を任命した。

9日、国内主要都市において、民主主義擁護委員会(KOD)主催による8日に発効した公共放送修正法案に対する抗議デモが実施された。ワルシャワ市の抗議デモには2万人(ワルシャワ市発表、警察発表では7千～8千人)が参加した。

11日、ヴァシチコフスキ外相は、外務省にて、ニケル駐ポーランド独大使と会談を行い、最近の独政治家による反ポーランド的な発言につき意見交換した。同外相は、最近の独政治家によるポーランドに関する発言は事実に基づいていない、両国政府は直接対話すべきである旨述べた。

12日、シドゥウォ首相は国民向けのTV演説を行い、ポーランドの民主主義、法の支配は然るべき機能し、表現の自由は確保されている旨述べた。

13日、シドゥウォ首相は、下院本会議にて演説を

行い、ポーランドが民主主義の原則を違反しているとの指摘は正しくなく、最近のポーランド批判は不当なものである、我々は民主選挙で選ばれた義務に基づいて公約を実現していく旨述べた。

13日、欧州委員会はポーランドの憲法法廷及び公共メディアの法改正を巡る情勢に関する協議を行った。同協議後、ティーマンス欧州委員会筆頭委員長は、ポーランドでは憲法法廷の判決が他の国家機関によって履行されておらず、新しく選出された国会が取った措置が憲法法廷の機能に影響を与えているようである、本日、欧州委員会には本件につき法の支配メカニズムの枠組における予備的な評価を行うことを決定した旨述べた。

13日、シドゥウォ首相は、同日に欧州委員会がポーランドに対する法の支配メカニズムを始動させる決定を下したことを受けて、記者会見を行い、我々は欧州委員会と積極的な対話を行っていく、欧州委員会とメディアを通じてではなく直接対話できることは良いことである旨述べた。

外 交 ・ 安 全 保 障

シドゥウォ首相、ポーランドの難民受け入れにつき発言【7日】

7日、シドゥウォ首相は、ポーランドの難民受け入れに関し、我々は定期的なペースで具体的な数の難民を受け入れる用意があることを宣言しており、現時点においては100名を受け入れる用意ができている旨述べた。また、同首相は、我々は理性的で予見可能な政権であり、前政権が合意した義務は実施される旨述べた。

NATOワルシャワ首脳会合に関する国防大臣の発言【10日】

10日、メディアのインタビューに応えたマチェレヴィチ国防大臣は、7月にワルシャワで開催予定のNATO首脳会合において、ポーランド国内にNATOの常設軍が設置されるかどうかが決めるであろう。これにより、ポーランドがドイツやフランス等のようにNATOの本場の参加国か、それとも二類のカテゴリーに属している国なのかが問われている旨述べた。

今春ミサイル防衛システムの構築【10-11日】

10日、メディアのインタビューに応えたマチェレヴィチ国防大臣は、今春までに国内北部のレジコヴォにミサイル防衛システムを構築開始予定と語った。本オペレーションは2018年、300名の米兵によっ

て実施される予定であり、このミサイル防衛計画はNATOの中短距離ミサイル防衛計画の一部となる。

ヴァシチコフスキ外相、チェコを訪問【11日】

11日、ヴァシチコフスキ外相は、チェコを訪問し、ザオラーレク外相との間で、主に二国間関係、V4を始めとする地域協力、欧州安全保障情勢につき意見交換した。ヴァシチコフスキ外相は、チェコは重要な隣国であり、現在地域が直面している脅威や右脅威への対応につき同じ認識を共有していることを嬉しく思う旨述べた。

米軍との防空演習実施【12日】

12日、ポーランド空軍は、200名の米兵と共に国内西部のスクフィエジナにおいて16日まで防空演習を実施する。参加する米兵は、2010年より米・ポーランド防衛プログラムにおいてポーランド軍のトレーニングを目的としてポーランド国内にロケーションで駐屯している。この演習は、ウェールズNATO首脳会合で合意された加盟国東側の強化に則したものである。

ドゥダ大統領の2016年前半の外交日程の発表【12日】

12日、シュテルスキ大統領府次官は、ドゥダ大統

領の本年前半の外交日程に関し、最重要行事は7月のNATOワルシャワ首脳会合であり、大統領は同首脳会合での決定内容に関するコンセンサス形成に向けて外交活動を行う旨述べた。また、同次官は、同時期の重要行事として、7月にクラクフで開催予定の世界青年の日及び4月のポーランド・キリスト教受容1050周年に言及した。

13日、ドゥダ大統領は、外交団との新年レセプションにて、外交政策に関するスピーチを行い、ポーランドが各加盟国の意思を平等に尊重するEUにおいて積極的且つ責任あるメンバー国であり続ける旨述べた。また、同大統領は、欧州難民問題に関し、EU域外国境の管理、積極的な亡命政策、然るべき人道支援の重要性を強調した。その他、ウクライナ問題が国際法に則して解決される必要性、NATOワルシャワ首脳会合における同盟強化の重要性等にも言及がなされた。

ドゥダ大統領、外交団を前に外交政策スピーチ【13日】

経 済

経済・財政政策

商業施設税法案は1月末提出見込み【8日】

シドゥウオ首相は、小売業者との会合の中で、PiSの公約だった商業施設税は新政権の優先事項の一つであり、小規模小売業の競争を促すものと発言、また法案は1月末には下院に提出見込みと言及。その後、11日にシャマワハ財務大臣は、商業施設税は当初の売り場面積ではなく売上高に応じて累進的に課税される可能性が高いと発言。

銀行税に対するECB見解【12日】

欧州中央銀行(ECB)によれば、12月に下院を通過した銀行税(年率0.44%)は、貸借対照表外取引や資産の海外移転を促進する可能性があり、金融の安定の観点から銀行部門に対するマイナスの影響を十分考慮されるべきと慎重な見方。同見解は、ポーランド下院の要請を受け、EU法に基づいて発出されたもの。

マクロ経済動向・統計

2016年のGDP成長率は3.8%と開発省予測【8日】

開発省予測によれば、2016年のGDP成長率は対前年比3.8%、失業率は9.8%。GDP成長は主に国内需要に牽引されるとの見方が示されている。

難しいとしても、今後数年間に移民問題のような否定的要因は減じ、2006年、2007年のような高い経済成長を達成することが可能との見方。

今後数年間で5%の経済成長達成【11日】

シャマワハ財務大臣は、記者に対して、今後数年間で5%の経済成長を目指すと言及。2016年には

12月の失業率は9.8%【12日】

労働省の発表によれば、12月の失業率は9.8%と11月より0.2ポイント上昇。ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣は労働市場の改善は2016年も続くと言及。

ポーランド産業動向

2015年の新車販売は大きく増加【8日】

2015年のポーランドにおける新車(乗用車及び商用車)販売台数は408,000台以上を数え、2014年に比べ9.4%の増加となった。特に年後半の伸びが大きく、12月はおよそ44,000台が販売されたという。年間最も多く販売されたのはシュコダ、2位はフォルクスワーゲン、トヨタは3位であった。シュコダは前年比3%の伸びであったが、他2社は二桁台

の伸びを見せた。

12月の自動車生産は増加【11日】

2015年12月のポーランドにおける自動車生産台数は前年同月比14.2%増加(前月日では15.3%の減少)となる45,637台となった。1年間の累計生産台数は累計642,406台となり、これは2011年に82.5万台を記録して以来過去最高となった。

エネルギー・環境

国有企業の今後について 国有財産大臣発言【11日】

ヤツキエヴィチ国有財産大臣は、今後の国有企業

管理の方向性について次のように述べた。大臣によれば、現在オルレン、ロトス、PGNiGの統合について分析を開始し、今年第一四半期のうちに統合が

可能か結論を出す方向性であるという。また、KGHMに関しては、18日に監査役会の人事が行われ、新たな監査役会がこれまでの同社投資について監査及び評価を行うことになると述べ、さらに国有財産省としては同社のチリへの投資について疑問を持つ

ているとも述べた。エネルギー企業については、近いうちにその管理権限がエネルギー省に移管されると言及した。また、2017年頃に国有財産省が解体される際、同省の管理下にある国有企業の管理権については新たな組織に移管されると述べた。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月15日(水)15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願いを掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Mangghaにて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、ヴロツワフ市、Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細：http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html

【開催中】原貴之氏による個展：「Before we fall again」【1月15日(金)～3月16日(水)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、原貴之氏による個展：「Before we fall again」が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/en/exhibition/59>

【予定】水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」【1月20日(水)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 三丁目の夕日」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】講演会「三島 由紀夫について」【1月25日(月)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ワルシャワ大学東洋学部日本学科ベアタ・クビアック教授とヤギエロン大学日本学科ヨアンナ・ヴォルスカ＝レナルチック教授による三島由紀夫の作品に関する講演会が開催されます。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00 , E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】講演会「浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重の生きた世界～」【1月27日(水)・28日(木)】

ワルシャワ市及びクラクフ市にて、ポストン美術館浮世絵デジタルプロジェクト・プロデューサー（NHK プロモーション）の牧野健太郎氏による講演『浮世絵から謎解き～歌麿・北斎・広重さんの生きた世界～』が開催されます。入場無料。（日本語・ポーランド語通訳）

開催場所：

ワルシャワ国立博物館, Al. Jerozolimskie 3 (27日(水), 17時半～)

クラクフ市日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26 (28日(木), 18時～)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)